

北陸農政局長賞受賞

～有機資源による資源循環型農業を核としたむらづくり～

よねくらゆうき さとこうりゅうしせつうんえいきょうぎかい
受賞者 **米倉有機の里交流施設運営協議会**

(新潟県新発田市)

■ 地域の概要

「米倉有機の里交流施設運営協議会」が属する米倉地区は、新潟県新発田市の南部に位置し、藩政時代は江戸と新発田をつなぐ、旧会津街道沿いの良質米産地として発展し、松並木や石積水路など当時の面影（美しい景観）を今に残す、中山間部の農村地域である。



■ 主なむらづくりの内容

本地区は、平成5年に起きた冷夏による米不作をきっかけに、土づくりに重点を置いた「有機資源による資源循環型農業を核としたむらづくり」を展開した。その実行部隊として、米倉有機の里交流施設運営協議会を発足させた。

誘致した「有機資源センター」で製造した、堆肥を活用した集落ぐるみの資源循環型農業体制の構築や、有機農業を売りとした市民農園「米倉ふれあい農園」の運営の他、ビオトープの管理等の環境保全活動、農園利用者である都市住民と地域住民との交流イベント「夏フェス」の開催など、幅広い活動を行っている。

また、旧大庄屋邸宅を文化資産としての価値が低下しないよう考慮しながら、改修した交流施設「有機の里交流センター」は、農村を身近に感じることでできる生涯学習や地域住民の集いの場、地域活動の拠点になっている。



写真1 米倉ふれあい農園



写真2 よねくら夏フェス



写真3 交流センターでの体験教室